

佳作

## 私の夢

千葉県 市原市立光風台小学校六年 梅北 菜海

私の夢はパティシエールになる事です。パティシエールという言葉を知ったのは四年生の頃でした。私の作るスイーツを家族のみんなは「おいしい、おいしい」と食べてくれます。だから、私の事を知らない人にも私のスイーツを食べてもらいたいと思います。今回、全国小学生パティシエ選手権というものに応募することにしました。

今年の選手権のテーマは「ありがとう」。私は、ありがとうの気持ちを、日頃から私の夢を応援してくれている人達みんなに伝えられるようにしたい、と思いました。近くににいる人には会って言葉で伝えられるけど、遠くにいる人には会って言葉で伝えることができない。だから、遠く離れた場所にいる人達にも伝わるありがとうのスイーツを作りたい。そう強く思い、それなら手紙がいいなと思いました。

それは、私の大おばあちゃんと大おじいちゃん、愛犬メイちゃんがいる天までも届くお手紙スイーツです。天まで届けるということで、白いケーキを雲にして、マカロンの風船でありがとうの気持ちを大空に飛ばす事をイメージした作品にしました。

予選の書類を送ってから一ヶ月。決勝大会に出られると聞いた時は本当にびっくりしました。その日から毎日猛特訓が始まりました。特訓の中で一番の壁となったのが時間でした。二時間半という制限の中で作り上げなくてはいけない。かなりのスピード勝負でした。材料や道具を変えたり、混ぜ方を変えたりして何度も何度も作りました。しかし、その中で気付いた事は材料や道具自体をそろえるのが実は大変で、その材料や道具自体を作るのにも色々な人がかかわっているという事です。その事に気付き、材料や道具を作る人にもありがとうと思うようになりました。そしてそんな大切な材料や道具をきちんと生かし、決勝大会では一つ一つ想いを込めたものを作ろう、と強く思いました。

決勝大会当日、初めての場所でのキッチンに少し戸惑いました。しかし「毎日やってきた。大丈夫。できる。ありがとう」と自分に言い聞かせ、信じ、

集中しました。スタートの合図で始まった二時間半は、応援してくれる人達のパワーを感じる事ができるくらい、私らしさを発揮でき、最後まで作り上げる事ができました。結果、審査発表では準優勝をもらいました。優勝ではないけれど、私は大満足です。ありがたいの気持ちタイトル通り天まで届けられたような気がします。

小さい頃から大好きだったお菓子作り。そんな大好きな事で全国大会に出られたという事は、私にとって大きな自信になりました。

今まで出会った人達、今回出会った関係者の皆さん、そしてこれから出会う人達。全ての物や事にも感謝の気持ちを忘れずに、これから楽しんで、夢であるパティシエールの道を進んで行きたいと思えます。